

2017.6.2

文責：寅屋敷哲也

第6回 BCAO 仙台地域勉強会 議事録

1. 日時：2017年6月2日（金）17時より18時30分頃まで
2. 場所：東北大学災害科学国際研究所 演習室C
3. 参加者：＜50音順＞ 計10名
*会員：丸谷（東北大災害研）、寅屋敷（東北大災害研）、尾崎（ウィッシュ）、佐藤（ケーエス）、武田（山形ゼロックス）、千葉（エキスパート）、西島（ツガワ）、渡部（東京リスク）（8名）
*オブザーバー：小豆嶋晃（安田総合）、平石（東北地整）、（2名）
4. 5月30日のBCAO総会における仙台地域勉強会の紹介
・これまでの仙台地域勉強会での議論について、BCAO総会で丸谷より紹介した旨を報告
5. 「サプライチェーン・マネジメントについて」（テキストとして、「中小企業BCP導入ガイド」の該当箇所を使用。丸谷より説明、その後意見交換）

＜代替供給・在庫面＞

- ・代替供給先を確保していても実際有事に本当に供給してくれるのか、また、自社の生産が止まって別の企業から供給した場合取引先が本当に戻ってくるか懸念がある。
- ・代替供給先から購入するとなると品質協定等で問題になる。
- ・部品の材料の中には、お客様からこの材料を使ってくれという指定があるところもある。
- ・近年、リスク分散を意図して、メーカーが積極的に在庫を持たしているらしい。
- ・供給責任のために安全在庫積み増ししたという企業からの声をよく聞く。
- ・震災後は特に中小企業でも在庫持っているところもある。

＜財務面＞

- ・BCPを進めると財務諸表のバランスが悪くなるということが課題としてある。
- ・生命保険を活用して、有事の財務に活用するという企業増えており、柔軟な事業継続戦略が可能となる。
- ・生命保険だと、2営業日程度で支払われる。
- ・有事の際に、退職金を活用する企業もある。
- ・保険にも、死亡保険、利益保険、デリバティブ等いろいろある。
- ・利益保険はあまり加入している人が少ない。

- ・為替、外資はリスクが高い。

<訓練面>

Q: サプライチェーン訓練で想定事象として南海トラフ地震を考える場合、どのようなストーリーを組めばいいのか悩んでいる。

A: 南海トラフだとどこで発生して、どこが被害大きいか分からないため、間接被害の地域性の違いをいくつかのパターンでやるというやり方がある。

5. その他

次回のBCAO 仙台地域勉強会の開催日時: 7月 7日 (金) 17時~18時 30分

次回の議題はBCAO アワード 2016

以上